

**2021年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）**

2021年2月12日

上場会社名 信和株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 3447 URL <http://www.shinwa-jp.com>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 山田 博  
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員管理本部長（氏名） 平澤 光良 (TEL) 0584-66-4436  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

**1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）**
**（1）連結経営成績（累計）**

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	10,699	△21.8	1,516	△17.2	1,465	△17.6	1,015	△16.8	1,003	△17.8	1,019	△16.5
2020年3月期第3四半期	13,688	1.2	1,831	14.6	1,778	14.5	1,220	21.4	1,220	21.4	1,220	21.3

  

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2021年3月期第3四半期	円 銭 71.24	円 銭 70.95
2020年3月期第3四半期	87.28	86.22

**（2）連結財政状態**

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
2021年3月期第3四半期	百万円 22,159	百万円 14,202	百万円 14,140	% 63.8
2020年3月期	21,620	13,788	13,740	63.6

**2. 配当の状況**

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 44.00	円 銭 44.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期(予想)				33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

**3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）**

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,900	△18.6	1,741	△21.2	1,670	△21.9	1,150	△21.7	1,150	△21.6	81.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	14,089,200株	2020年3月期	14,089,200株
2021年3月期3Q	一株	2020年3月期	一株
2021年3月期3Q	14,089,200株	2020年3月期3Q	13,988,800株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる事項等につきましては、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローの状況	4
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年12月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、消費活動のみならず社会経済活動が著しく停滞したことから、極めて厳しい状況でありました。足元の景気動向には持ち直しの動きも見られるものの、設備投資は引き続き弱い動きを示しており、今後も国内外の感染症の動向をはじめ、未だ予断を許さない状況が継続しております。

当社製造製品の供給先である建設業界におきましては、2020年4月の緊急事態宣言発令以降、建築現場における工事の中断・延期、先行き不安により新規投資が抑制される等の影響がみられましたが、緊急事態宣言の解除後は、公共事業を中心に、底堅い建築需要がみられました。

当社グループにおいては、社員及び取引先の健康を最優先としつつ業務効率の向上を図るべく、全拠点にて在宅勤務の推進、Web会議の利用促進など、感染症の拡大防止と効率的な事業運営に努めてまいりました。

また、コロナ禍の状況にあっても、安全措置資材など高付加価値製品の需要は高く、これら製品の製造・供給に注力することで、収益性の改善を図ってまいりました。

さらに、引き続き役員報酬等の減額やその他の固定費の削減を行うとともに、新規投資案件の見直し等、あらゆる手段を通じたコスト削減、支出抑制に取り組んでまいりました。

2019年11月に新設いたしました中国の製造子会社『広東日信創富建築新材料有限公司』においては、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け立ち上げが遅れたものの、2020年6月より製造・販売を開始しております。一方でフィリピン駐在員事務所においては、フィリピン共和国における経済活動の停滞の長期化、及び、治安の状況等の見通しを鑑み、2020年8月をもって閉鎖いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上収益は10,699百万円(前年同期比21.8%減)、売上総利益率は26.5%(前年同期比1.3ポイント改善)、営業利益は1,516百万円(前年同期比17.2%減)、営業利益率は14.2%(前年同期比0.8ポイント改善)、税引前四半期利益は1,465百万円(前年同期比17.6%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,003百万円(前年同期比17.8%減)となり、想定を上回って推移いたしました。

なお、当社グループは単一の事業セグメントであるため、以下では各部門の売上収益について記述していません。

#### ① 仮設資材部門

仮設資材部門においては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、建築工事の中断・延期、並びに、新規建設投資案件の延期等の影響が見られたものの、想定ほどの急激な落ち込みは見られず、また、安全措置資材など当社製品に対する需要が堅調であった結果、当第3四半期連結累計期間における仮設資材部門の売上収益は8,587百万円(前年同期比26.8%減)となり、想定を上回る着地となりました。

#### ② 物流機器部門

物流機器部門においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、主に海外との物流減少の影響を受けておりますが、自動車産業をはじめ、緩やかな企業活動の持ち直しに伴い、堅調に推移しております。

また、延期されていた大型倉庫の工事案件の検収も予定通り当第3四半期に実施され、これらの結果、当第3四半期連結累計期間における物流機器部門の売上収益は2,112百万円(前年同期比8.1%増)となり、想定を上回る着地となりました。

(単位：千円)

製品及びサービスの名称		前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
仮設資材	くさび緊結式足場	7,386,643	4,769,453
	次世代足場	1,616,487	1,407,546
	その他の仮設資材	2,731,184	2,410,184
	(小計)	11,734,315	8,587,184
物流機器	パレット	1,954,396	2,112,644
	(小計)	1,954,396	2,112,644
合計		13,688,712	10,699,829

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は9,186百万円となり、前連結会計年度末に比べ840百万円増加しました。この主な要因は、現金及び現金同等物が1,320百万円、営業債権及びその他の債権が158百万円増加し、棚卸資産が628百万円減少したためであります。また、非流動資産は12,973百万円となり、前連結会計年度末に比べ301百万円減少しました。この主な要因は、有形固定資産が293百万円減少したためであります。この結果、資産合計は22,159百万円となり、前連結会計年度末に比べ539百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は2,347百万円となり、前連結会計年度末に比べ329百万円増加しました。この主な要因は、営業債務及びその他の債務が142百万円、借入金が89百万円増加したためであります。また、非流動負債は5,609百万円となり、前連結会計年度末に比べ204百万円減少しました。この主な要因は、借入金が238百万円減少したためであります。この結果、負債合計は7,957百万円となり、前連結会計年度末に比べ124百万円増加しました。

(資本)

当第3四半期連結会計期間末の資本合計は14,202百万円となり、前連結会計年度末に比べ414百万円増加しました。この主な要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上1,003百万円、配当の実施619百万円により、利益剰余金が383百万円増加したためであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ1,320百万円増加し4,440百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において営業活動によるキャッシュ・フローは2,256百万円となり、前年同四半期と比べ465百万円増加しました。主な収入要因は、税引前四半期利益1,465百万円、減価償却費及び償却費504百万円、棚卸資産の減少629百万円、営業債務及びその他の債務の増加145百万円であり、主な支出要因は、法人所得税の支払額433百万円、営業債権及びその他の債権の増加194百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は112百万円となり、前年同四半期と比べ214百万円減少しました。主な支出要因は、有形固定資産の取得による支出131百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は827百万円となり、前年同四半期と比べ124百万円減少しました。主な支出要因は、配当金の支出618百万円、長期借入金の返済による支出250百万円であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想数値につきまして、当第3四半期連結累計期間までの業績等を踏まえ、2020年10月29日公表の2021年3月期通期(2020年4月1日～2021年3月31日)の連結業績予想及び配当予想を修正(以下「本修正」といいます。)しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想(IFRS)及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

本修正は、当第3四半期連結累計期間までの業績に加え、新型コロナウイルス感染症の第3波の到来、並びに、2021年1月の緊急事態宣言を受け、我が国の経済活動全般には停滞感が生じるものの、建築工事においては、大きな遅延・停滞は生じないとの前提に基づき、策定しております。

① 仮設資材部門

仮設資材部門においては、2021年1月の緊急事態宣言の発令以降も、建築工事等には大きな遅延・停滞は生じないものと想定しております。一方、設備投資に対する慎重な姿勢は根強く続くものと想定され、当社製品に対する需要回復のペースは引き続き緩やかなものになると見込んでおります。

以上により、仮設資材部門の通期売上収益は11,156百万円(前期比23.3%減)を見込んでおります。

② 物流機器部門

物流機器部門においては、幅広い業種業界に対して、収納・運搬にかかる各種オーダーメイド製品を供給しております。このうち、自動車産業向けパレットや液体搬送用バルクコンテナ等の製品は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う物流減少の影響を受けているものの、国内外の物流量の回復に伴う物流機器への投資が徐々に正常化するものと想定しております。

また、各種大型案件の受注も堅調であることなどから、物流機器部門の通期の売上収益は2,743百万円(前期比8.1%増)を見込んでおります。

コスト面においては、引き続き役員報酬等の減額やその他の固定費の削減を行うとともに、新規投資案件の絞り込み等を行い、あらゆる手段を通じたコスト削減に努めてまいります。

以上に基づき、2021年3月期の連結業績予想数値につきましては、売上収益13,900百万円(前期比18.6%減)、営業利益1,741百万円(前期比21.2%減)、税引前利益1,670百万円(前期比21.9%減)、当期利益1,150百万円(前期比21.7%減)、親会社の所有者に帰属する当期利益1,150百万円(前期比21.6%減)を見込んでおります。

また、配当につきましては、本修正及び当社の配当性向目標に基づき、年間の配当を前回の配当予想から4円増配し、1株当たり33円に修正することといたしました。

なお、上記の予想は、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づいた想定のもとに算定しておりますが、新型コロナウイルス感染症の影響や需要動向などの業況の変化等、多分に不確実要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離する可能性があります。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	3,120,411	4,440,474
営業債権及びその他の債権	2,777,446	2,935,648
棚卸資産	2,405,597	1,777,018
その他の流動資産	42,132	33,099
流動資産合計	8,345,587	9,186,240
非流動資産		
有形固定資産	2,370,577	2,077,316
使用権資産	353,196	359,627
のれん	9,221,769	9,221,769
無形資産	1,258,021	1,246,529
その他の金融資産	59,617	57,835
その他の非流動資産	11,760	10,397
非流動資産合計	13,274,943	12,973,475
資産合計	21,620,530	22,159,715



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	739,649	882,532
借入金	495,430	585,056
未払法人所得税	432,829	476,980
その他の金融負債	83,340	80,479
その他の流動負債	267,084	322,527
流動負債合計	2,018,335	2,347,577
非流動負債		
借入金	5,202,637	4,963,695
引当金	45,561	45,575
その他の金融負債	240,131	272,990
繰延税金負債	321,913	323,580
その他の非流動負債	3,900	3,900
非流動負債合計	5,814,144	5,609,740
負債合計	7,832,479	7,957,317
資本		
資本金	150,125	150,125
資本剰余金	6,951,814	6,966,121
利益剰余金	6,640,266	7,024,075
その他の資本の構成要素	△1,534	524
親会社の所有者に帰属する 持分合計	13,740,672	14,140,846
非支配持分	47,378	61,552
資本合計	13,788,051	14,202,398
負債及び資本合計	21,620,530	22,159,715

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上収益	13,688,712	10,699,829
売上原価	△10,238,029	△7,860,272
売上総利益	3,450,682	2,839,556
販売費及び一般管理費	△1,619,334	△1,357,888
その他の収益	5,086	59,233
その他の費用	△4,664	△24,077
営業利益	1,831,770	1,516,824
金融収益	94	357
金融費用	△53,457	△51,272
税引前四半期利益	1,778,407	1,465,909
法人所得税費用	△557,440	△449,993
四半期利益	1,220,966	1,015,915
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,220,966	1,003,733
非支配持分	—	12,182
四半期利益	1,220,966	1,015,915
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	87.28	71.24
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	86.22	70.95

要約四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期利益	1,220,966	1,015,915
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性がある項目：		
在外営業活動体の外貨換算差額	—	4,050
純損益に振り替えられる可能性がある項目 合計	—	4,050
税引後その他の包括利益	—	4,050
四半期包括利益合計	1,220,966	1,019,965
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	1,220,966	1,005,792
非支配持分	—	14,173
四半期包括利益合計	1,220,966	1,019,965

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

(単位: 千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	親会社の 所有者に帰属 する持分合計	資本合計
2019年4月1日残高	150,125	6,915,576	5,793,305	12,859,007	12,859,007
会計方針の変更の 影響額	—	—	△4,805	△4,805	△4,805
2019年4月1日 修正再表示後残高	150,125	6,915,576	5,788,499	12,854,201	12,854,201
四半期利益	—	—	1,220,966	1,220,966	1,220,966
四半期包括利益合計	—	—	1,220,966	1,220,966	1,220,966
配当金	—	—	△615,507	△615,507	△615,507
株式報酬取引	—	33,574	—	33,574	33,574
所有者との 取引額等合計	—	33,574	△615,507	△581,932	△581,932
2019年12月31日残高	150,125	6,949,150	6,393,959	13,493,235	13,493,235

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

(単位: 千円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素			非支配持分	資本合計
				在外営業活 動体の外貨 換算差額	その他の 資本の構成 要素合計	親会社の 所有者に帰属 する持分合計		
2020年4月1日残高	150,125	6,951,814	6,640,266	△1,534	△1,534	13,740,672	47,378	13,788,051
四半期利益	—	—	1,003,733	—	—	1,003,733	12,182	1,015,915
その他の包括利益	—	—	—	2,058	2,058	2,058	1,991	4,050
四半期包括利益合計	—	—	1,003,733	2,058	2,058	1,005,792	14,173	1,019,965
配当金	—	—	△619,924	—	—	△619,924	—	△619,924
株式報酬取引	—	14,306	—	—	—	14,306	—	14,306
所有者との 取引額等合計	—	14,306	△619,924	—	—	△605,618	—	△605,618
2020年12月31日残高	150,125	6,966,121	7,024,075	524	524	14,140,846	61,552	14,202,398

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期利益	1,778,407	1,465,909
減価償却費及び償却費	499,634	504,935
金融収益及び金融費用	53,362	50,914
固定資産売却損益 (△は益)	△200	△115
固定資産処分損	0	85
株式報酬費用	33,574	14,306
棚卸資産の増減	△472,193	629,126
営業債権及びその他の債権の増減	496,444	△194,317
営業債務及びその他の債務の増減	△196,246	145,614
その他の増減	66,186	102,990
小計	2,258,969	2,719,449
利息及び配当金の受取額	94	357
利息の支払額	△31,043	△30,020
法人所得税の支払額	△486,328	△433,180
法人所得税の還付額	49,482	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,791,174	2,256,606
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	50,035	—
有形固定資産の売却による収入	201	19,510
有形固定資産の取得による支出	△384,167	△131,660
無形資産の取得による支出	△3,456	△2,598
その他	10,197	1,784
投資活動によるキャッシュ・フロー	△327,190	△112,963
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の借入による収入	—	87,048
長期借入金の返済による支出	△250,000	△250,000
ファイナンス費用の支出	△6,502	△7,557
非支配持分からの払込による収入	—	33,150
配当金の支出	△612,766	△618,861
リース負債の返済による支出	△81,857	△70,896
財務活動によるキャッシュ・フロー	△951,126	△827,117
現金及び現金同等物の為替変動による影響	—	3,538
現金及び現金同等物の増減額	512,856	1,320,062
現金及び現金同等物の期首残高	1,742,662	3,120,411
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,255,519	4,440,474

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。